

第43回 歴史&ハイキング愛好会例会 実施報告書

「船橋大神宮の初詣とキリンビール取手工場」見学

当番世話人 藤井 弘道

日頃、飲み会では先ずは”ビール”が定番であるビールについて、歴史、製法、おいしい飲み方等の勉強と思い、大手キリンビール工場見学を企画した。当日は天候に恵まれ10時15分にJR常磐線、取手駅に参加者8名が集合し、路線バスで取手工場到着。

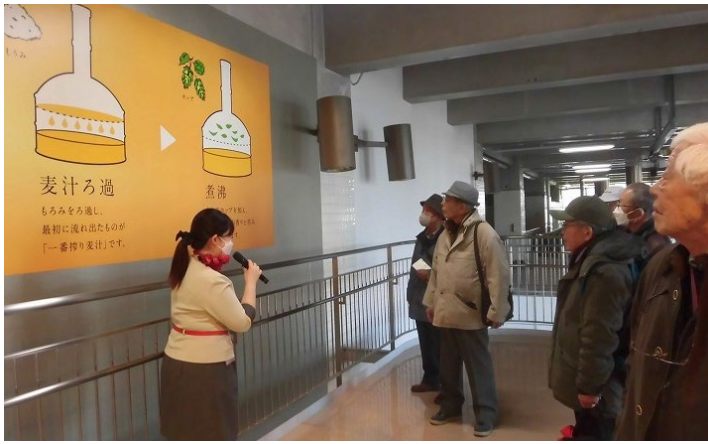


・JR取手駅から路線バスで工場に向かう



事前予約のためか、女子ガイドの丁寧な出迎えがあり好印象。先ずは、応接室でキリンビール「一番搾り」の開発を中心にした会社の歴史、ビール製造工程をビデオで学ぶ。





*特に印象に残ったことは

1. 大工場で稼働日であったが従業員の姿がチラホラで装置産業そのものであった。(工場全従業員 約 100 名)
2. ビール製造の三大要素は麦芽、ホップ、水で、それぞれ徹底した分析、評価で最良の材料を選び、看板商品の「一番搾り」は特に厳選された行程から作られていること。
2. 約 90 分の行程見学後、試飲室で出来たての一番搾りと一般行程品のうまさ比較があり、前者ののど越しの味差さ大にビックリ。メンバーの皆さんも同様感想であった。





*参加者（敬称略） 8名

（後）川俣賢三 野田 佑 住田勝治 岩崎正憲 湯浅尋夫、
（前）六角 學 藤井弘道 山田昌之

今回の工場見学を終えて感じたことは日頃マンネリ化しているビール飲みでも、一步踏み込んでみると、グラス選び、鮮度、注ぎ方等で、おいしい飲み方ができる、新しい発見が出来たことを痛感した。工場見学後、再度公共交通機関を利用して、1900年以上の歴史を誇る「船橋大神宮」正式名称「意富比神社」（おおひじんじゃ）で初詣して解散。

以上